学校自己評価報告書

（令和 7 年度）

令和 8 年 10 月

学校法人藤仁館学園

藤仁館医療福祉専門学校

１．学校の教育目標

本校学則第１条（目的）に「本校は、教育基本法に則り、学校教育法並びに社会福祉士及び介護福祉士法、保健師助産師看護師法等に従って、専門的な知識及び技能を修得させ、保健・医療・福祉事業にたずさわる者を養成することを目的とする。」としており保健・医療・福祉分野に関する職業人を養成しております。

私たち藤仁館学園の願いは、卒業生が介護・看護を中心とした医療・福祉の世界で、10 年・20 年先まで中心的人材として活躍し続けることです。

当校に在学中の学生生活を充実させるのは勿論のこと、卒業後の仕事において、就業年数に相応しい知識・技術・見識を身に付け、それを客観的に証明する「資格」を取得し、仕事に活かすことが出来れば職業人として最高です。

そのため、当校では、設置学科を無意味に増設することに替えて、卒業後３年・５年・10 年・15 年と卒業生の成長に合わせたスキルアップ教育を提供し、生涯を通じて卒業生と学校が成長しあえる関係を構築することを目標としています。

２．本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

（１）介護福祉学科に関して

一般入学者、離職者訓練を併せて 27 名の学生が入学しました。

国家試験は全員受験、全員合格をさせることが最大の目標となります。

（２）看護師学科に関して

第 9 期生として 19 名の入学者を迎えました。

個人差のある学生の基礎学力のベースアップを図りながら、指定科目の定着、国家試験を意識した授業を心掛けていきます。国家試験においては引き続き全員受験、全員合格を最大の目標とします。

（３）別科に関して

学科名	修業期間	定員	実員	学科内容
社会福祉士科（1 年生）	1 年 6 月	320 名	169 名	社会福祉士一般養成課程（通信）
社会福祉士科（2 年生）	1 年 6 月	320 名	218 名	社会福祉士一般養成課程（通信）
社会福祉士科（1 年生）	9 月	160 名	32 名	社会福祉士短期養成課程（通信）
精神保健福祉士科（1 年生）	1 年 7 月	180 名	99 名	精神保健福祉士一般養成課程（通信）
精神保健福祉士科（2 年生）	1 年 7 月	180 名	133 名	精神保健福祉士一般養成課程（通信）
精神保健福祉士科（1 年生）	9 月	380 名	203 名	精神保健福祉士短期養成課程（通信）
看護師科（1 年生）	2 年	300 名	328 名	看護師科（通信課程）
看護師科（2 年生）	2 年	300 名	234 名	看護師科（通信課程）

（４）実習指導者講習会に関して

「介護福祉士実習指導者講習会」「社会福祉士実習指導者講習会」「精神保健福祉士実習指導者講習会」を複数日程で実施

３．評価項目の達成及び取組状況

（1）教育理念・目標

評価項目	適切・・・4　ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2　不適切・・・1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	[4]　3　2　1
・学校における職業教育の特色は何か	[4]　3　2　1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	[4]　3　2　1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4　[3]　2　1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	[4]　3　2　1

① 課題

留学生の国家試験合格率の向上

② 今後の改善方策

留学生向けの教材の作成、個別の指導

③特記事項

（2）学校運営

評価項目	適切・・・4　ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2　不適切・・・1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	[4]	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	[4]	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	4	[3]	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	[4]	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	[4]	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	[3]	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	[3]	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	[3]	2	1

①課題

[
① 事業計画に関して、中・長期事業計画の精度を高める。
② 情報公開の一層の改善
③ 情報システム化等による業務の効率化と共に教職員の能力向上に向けた研修
]

②今後の改善方策

[
① 中・長期的視野に立って時代のニーズに合わせた方針の修正
② ホームページの一層の充実
]

③特記事項

[
① ホームページの更新
② 国家試験対策の強化
]

（3）教育活動

評価項目	適切・・・4　ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2　不適切・・・1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	[4]	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	[4]	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	[4]	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	[3]	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	[3]	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	[4]	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	[4]	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	[3]	2	1
・成績評価、単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	[4]	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	[4]	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	[4]	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	[3]	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	[3]	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	[3]	2	1

①課題

[① 外部関係者からの評価の受入れ体制が不十分となっている。]

②今後の改善方策

[① 実習巡回時に指摘された内容についてすみやかに授業運営に反映させる。]

③特記事項

[ ]

（4）学修成果

評価項目	適切・・・4　ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2　不適切・・・1			
・就職率の向上が図られているか	[4]	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	[4]	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	[3]	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	[4]	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	[3]	2	1

①課題

[
① 進路変更による退学者が出ている。
② 卒業生とのネットワーク構築が不十分。
]

②今後の改善方策

[
① 進路変更による退学希望者については、進路変更の理由を確認し、業界の魅力、将来性について再度説明する他、担任制を導入していることから、保護者との連携・個別面談等を実施し、退学率の低減に努める。
]

③特記事項

[ ]

（5）学生支援

評価項目	適切・・・4　ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2　不適切・・・1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	[4]	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	[4]	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	[3]	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	[3]	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	[2]	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	[3]	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	[3]	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	[4]	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	[3]	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	[3]	2	1

①課題

授業以外の活動が整備されておらず、課外活動についてはボランティア活動程度になっている。

②今後の改善方策

ボランティア活動だけでなく他の課外活動ができる環境を作る。

③特記事項

① 就職支援という時間を１年次 60 時間、２年次 60 時間導入しており、その中で実際に施設の方を招いての就職・業界説明会を実施している。
② 保護者に対しては毎学期成績表と出席状況を書面にて報告している。
③ 卒業後のスキルアップとして、社会福祉士養成施設、精神保健福祉士養成施設を用意している。

（6）教育環境

評価項目	適切・・・4　ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2　不適切・・・1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	[4]	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	[3]	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	[3]	2	1

①課題

① 学生が受講する外部研修について十分な体制が整備されていない。

②今後の改善方策

① 外部研修への参加を企画し、実行できる体制を確立する

③特記事項

① 実習施設については、学生の就職などを考慮して、常に開拓している。
② 社会福祉士、精神保健福祉士の実習施設についても同様に希望に合う様、常に開拓している。

（7）学生の受入れ募集

評価項目	適切・・・4　ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2　不適切・・・1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	[4]	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	[3]	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	[4]	3	2	1

①課題

医療・福祉業界の魅力発信、訴求が不十分。

②今後の改善方策

①　保護者相手の説明会の実施
②　高校教師や保護者向け施設見学会の実施

③特記事項

（８）財務

評価項目	適切・・・４　ほぼ適切・・・３ やや不適切・・・２　不適切・・・１			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	[3]	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	[4]	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	[4]	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	[4]	3	2	1

① 課題

中長期的には問題がない。

②今後の改善方策

安定した学科運営を維持し、借入金を計画通り返済していく。

③特記事項

（９）法令等の遵守

評価項目	適切・・・４　ほぼ適切・・・３ やや不適切・・・２　不適切・・・１			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	[4]	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	[4]	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	[3]	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	[3]	2	1

①課題

自己評価結果等の公開をしている。

②今後の改善方策

自己評価結果等をホームページ等で情報公開していく。

③特記事項

（10）社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4　ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2　不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	[4]　3　2　1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4　[3]　2　1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	[4]　3　2　1

①課題

学生ボランティア活動を奨励、支援しているが、実際の人数は少ない。

②今後の改善方策

ボランティアの魅力を伝えていく。

③特記事項

① 平成 21 年度より群馬県より「介護福祉士養成に係る２年間の訓練」の受託
② 介護福祉士実習指導者講習会、社会福祉士実習指導者講習会、精神保健福祉士実習指導者講習会の実施

4　学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校の教育体制が確立されてきたが、学校評価を通じて今後の課題として
下記に掲げる項目が不足していることが再認識された。

1．学生や保護者との情報の共有
2．情報公開の一層の改善
3．教職員の能力向上に向けた研修
4．ホームページの一層の充実と情報公開
5．退学者防止
6．外部関係者からの評価の受入れ体制
7．課外活動の導入
8．海外研修についての実施と十分な教育体制の整備
9．介護に対するイメージアップの説明会の実施
10.. 卒業生とのネットワークの構築